

静岡県

土地改良



写真：田んぼアート菊川（菊川市下内田）

○ 伊藤壽一理事ご逝去	1
○ 令和2年度 農業農村整備事業予算編成に対する要請活動	1
○ 令和元年度 臨時総会	2
○ 令和元年度 複式簿記導入促進特別研修会	2
○ 令和元年度 換地計画実務研修会	3
○ 大井川用水探検隊	4
○ 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2019	4
○ 令和2年度 農林水産予算概算要求の概要	5
○ 静岡県の歴史的な土地改良施設	7
○ ふじのくに美しく品格のある邑	8
○ 行事予定（11月～12月）	9



みどり
水土里 ネット 静岡
静岡県土地改良事業団体連合会

伊藤壽一理事ご逝去

本会理事であります伊藤壽一様(牧之原畑地総合整備土地改良区理事長)が、去る令和元年9月24日(火)に逝去されました。享年81歳でした。

故人は平成10年から3期11年に亘り菊川町議会議員及び同市議会議員として市民生活の向上に尽力され、その間議長の要職も務められました。

平成13年に牧之原畑地総合整備土地改良区理事に就任後、平成21年より副理事長を4年間務め、平成25年より理事長に就任。長年の功績が認められ、平成26年に旭日双光章を受章されました。

平成27年には本会の理事に就任し、土地改良の推進に大変なご尽力をいただきました。

心からご冥福をお祈りいたします。



令和2年度 農業農村整備事業予算編成に対する要請活動



令和元年8月7日(水)、本会並びに県内7つの土地改良事業推進協議会は、農林水産大臣の吉川貴盛氏に対して、令和2年度 農業農村整備事業予算の確保を要請しました。

要請内容は以下の通りです。

【 一 要 請 内 容 】

1. 農業の競争力強化の推進について
 - (1) 農業の力強い発展を目指した基盤整備の推進
 - (2) 基幹的農業水利施設の着実な更新整備と長寿命化対策
2. 中山間地域等の樹園地等の整備に係る要件緩和について
3. 農村地域の国土強靱化の推進について
4. 多面的機能支払交付金の制度拡充について

令和元年度 臨時総会

令和元年 8 月 19 日(月)、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市)において、令和元年度 臨時総会を開催しました。

はじめに開会の挨拶として、伊東会長が「我々は農業という社会にとっての基幹産業に携わっている。土地改良事業と農村整備事業は基盤中の基盤であり、目に見えないところでの仕事を期待されている。農業農村整備事業の現場としての土地改良施設の整備や更新、それを支える土地改良区と市町の農政の事業推進のための気持ちを高めていただきたい。」と述べました。

続いて参議院議員 宮崎雅夫氏、そして静岡県経済産業部農林水産担当部長 志村信明氏(経済産業部 農地計画課長 櫻井正陽氏読)よりご祝辞をいただきました。

引き続き、議長に選任された東山湖土地改良区理事長 鈴木正和氏のもと、「平成 30 年度事業報告及び収支決算並びに財務諸表、財産目録の承認について」、「定款の一部改正について」、「余裕金の預入先について」の 3 議案が審議され、原案通り可決されました。



臨時総会の様子

令和元年度 複式簿記導入促進特別研修会

令和元年 9 月 25 日(水)・26 日(木)、本会主催の令和元年度 複式簿記導入促進特別研修会を開催しました。

この研修会は、令和 4 年度から始まる土地改良区の貸借対照表作成の義務化に伴い、円滑に複式簿記への移行を促すために企画されました。

研修会はクリエート浜松(浜松市)と男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市)の 2 会場で行われ、浜松会場では 36 名、静岡会場では 26 名の参加がありました。



複式簿記導入促進特別研修会の様子

研修内容 (会場共通)

- 1.土地改良区複式簿記の基礎知識
- 2.土地改良区における基本的な勘定科目及び仕訳について
- 3.土地改良区会計における複式簿記方式による会計記帳実務
- 4.土地改良区会計特有の勘定科目及び仕訳について
- 5.新たな土地改良区会計基準について
- 6.土地改良施設の資産評価マニュアルの紹介と減価償却の実務
- 7.開始貸借対照表の作成方法について

令和元年度 換地計画実務研修会

令和元年度 換地計画実務研修会を、① 8月20日(火)・21日(水)、② 9月3日(火)・4日(水)の二回に分けて開催しました。

この研修会は、土地改良区体制強化事業実施要綱に基づき、土地改良事業における換地業務の基本的知識について研修することで、換地業務の円滑な推進を図るために開催しています。

今回の研修会では、土地改良事業に伴う換地業務に従事する県、市町、土地改良区、農協などの職員延べ41名の参加がありました。



換地計画実務研修会の様子

研修対象者

- ・土地改良事業に従事する県、市町、土地改良区、農協等の職員
- ・換地事務の理解を深めたい県、市町、土地改良区、農協等の職員
- ・新規に換地事務を担当される職員、役員、委員

8月	20日(火)	1.土地改良法の概要(法手続き関係)
		2.農地制度について
		3.土地改良法等の改正
		4.換地理論・交換分合事業の概要
	21日(水)	1.基礎調査(経営体育成促進換地等調整事業)
		2.共有者の代表制について
		3.国有地地区編入手続きについて(二線引畦畔及び脱落地の処理)
		4.行方不明者の対応、財産管理人の選定等について
	5.人・農地プランについて	
9月	3日(火)	1.換地選定の要領と実務
		2.土地改良事業における換地税制等について
		3.土地評価と換地清算
		4.相続登記について
	4日(水)	1.字界変更について
		2.換地計画書作成等について
		3.確定測量について
		4.換地制度を活用した非農用地換地手法
		5.一時利用地と換地処分・処分登記

大井川用水探検隊



菊川頭首工



令和元年8月2日(金)、大井川右岸土地改良区主催による大井川用水探検隊が開催されました。

このイベントは地元の子供達に、大井川用水の施設見学を通して用水と農業の大切さを感じてもらうことを目的に、毎年夏に開かれています。

探検は篠ヶ谷調整池(御前崎市新野)からスタートし、生活の身近にある田んぼに水が辿り着くまでの過程を追って、菊川頭首工(菊川市富田)や川口取水口(島田市川口)などの主要施設を見学しました。

大井川水路橋を渡ったあとは、模型を使ったサイホン実験を行い、現在でも使われている先人の知恵や合理的な送水の方法を体感的に学びました。



見学ポイントで仕組みを解説



横岡分水工(島田市横岡)



サイホン実験

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2019

前号(No.450)でご案内しました、第20回「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2019へのご応募ありがとうございました。「新発見!ぼくのわたしのふるさと」をテーマに、県内からは44点の力作の応募がありました。

入賞・入選の発表は2019年10月下旬を予定。本人または代表者に、主催者(全国土地改良事業団体連合会)から直接お知らせいたします。

※ [全国土地改良事業団体連合会 HP](http://www.inakajin.or.jp) でもご案内します (<http://www.inakajin.or.jp>)

令和2年度 農林水産予算概算要求の概要

農林水産省の令和2年度農林水産予算概算要求が概算決定されました。農林水産予算の総額は2兆7,307億円(前年比118.2%)、農業農村整備事業費は3,978億円(前年比122.0%)となっています。

1. 農業農村整備事業関係予算 概算要求の概要

(単位：億円)

	令和元年度 予算額	令和2年度 概算要求額	対前年度比
農業農村整備事業〈公共〉	3,260	3,978	122.0%
農業農村整備関連事業〈非公共〉 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業〕	508	631	124.3%
農山漁村地域整備交付金〈公共〉 (農業農村整備分)	650	780	120.0%
計	4,418	5,388	122.0%

2. 農村振興局関係予算の重点事項

農村振興局関係予算総額 6,926 億円(5,875 億円)
※各項目の()内は、令和元年度当初予算額

1 「スマート農業」の実現と強い農業のための基盤づくり

(1) 農業農村基盤整備(競争力強化・国土強靱化)

① 農業農村整備事業〈公共〉	3,978 億円 (3,260 億円)
② 農地耕作条件改善事業	350 億円 (300 億円)
③ 農業水路等長寿命化・防災減災事業	281 億円 (208 億円)
④ 農山漁村地域整備交付金〈公共〉	1,113 億円 (927 億円)

(2) 畜産・酪農の競争力強化

○ 草地関連基盤整備〈公共〉	93 億円 (83 億円)
----------------	---------------

2 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進

(1) 農地中間管理機構による農地集積・集約化と農業委員会による農地利用の最適化

① 農地の大区画化等の推進〈公共〉	1,854 億円の内数 (1,297 億円の内数)
-------------------	------------------------------

② 農地耕作条件改善事業(再掲) 350 億円 (300 億円)

3 水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施

(1) 水田フル活用の推進

○ 水田農業の高収益化の推進	
(水田活用の直接支払交付金)	3,215 億円の内数
(農地の大区画化等の推進)	1,854 億円の内数
(強い農業・担い手づくり総合支援交付金)	296 億円の内数
(持続的生産強化対策事業)	233 億円の内数
(畜産生産力・生産体制強化対策事業)	16 億円の内数

4 農山漁村の活性化

(1) 日本型直接支払の実施

① 多面的機能支払交付金	493 億円	(487 億円)
② 中山間地域等直接支払交付金	269 億円	(263 億円)

(2) 中山間地農業の所得向上を始めとした農山漁村の活性化

① 中山間地農業ルネッサンス事業〈一部公共〉	510 億円	(440 億円)
② 農山漁村振興交付金	100 億円	(98 億円)
ア. 「農泊」の推進		
イ. 農福連携の推進		
ウ. 人材交流・ビジネス支援対策		
エ. 都市農業の多様な機能の発揮		
③ 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進	122 億円	(104 億円)
④ 特殊自然災害対策施設緊急整備事業	2 億円	(2 億円)

静岡県歴史的
土地改良施設か も ようすい
加茂用水

所在地：菊川市潮海寺

流域最古の用水路

菊川の流域には水田が広く分布し、大部分の地域で稲作中心の農業が行われています。しかし菊川を流れる水の流量は少なく、大井川や天竜川などの大河川から離れているため、近代的な改修が進められるまでの長い間、用水の確保に問題を抱えていました。

そんな菊川流域で最も古い用水路と考えられているのが、菊川中流部、現在の菊川市加茂地区を潤している加茂用水です。

一人の武士と村の再出発

加茂用水には、開発の先駆者・三浦刑部という人物の伝承が残っています。

三浦刑部は今川氏に仕えていた武士で、永禄3年(1560年)に桶狭間の戦いで今川義元公が討たれた後、加茂地区に移り住んで帰農しました。

移り住んだ当時の加茂地区は、徳川・武田両軍の高天神城攻防の兵乱直後で、村は兵火に焼かれていました。住む人も少なく、水利にも欠け、農耕はほとんど不可能の状態でしたが、永住を決意した刑部はこの地の開拓を志しました。

彼は村の水利状況を変えるために、潮海寺村(現菊川市潮海寺)から菊川の水を取り入れ、上本所村・下本所村(現菊川市本所)、半済村(現菊川市半済)を通して加茂村に通じる、総延長7,650mの用水路を計画しました。

ところが経路に当たる村々の領主が異なるため、許可なく立ち入ることができません。そこで狂人を装い、風を揚げては糸を切り、拾うと見せかけて、他村の地形・地物を調査測量したり、奇声を張り上げながら往来の多い東海道で不毛地を宣伝し続

けました。永い歳月をかけ、計画を練ると同時に、人々に「加茂は水利に恵まれず農耕不能」という印象を与えていったのです。

その後菊川を引水するための願書を各領主に提出し、工事許可を得て天正7年(1581年)に工事は着手されました。しかし、刑部は用水路の完成を見ることなくこの世を去り、彼の2人の息子達が遺志を引き継いで工事は進められました。

この地区へ用水を引くためには、途中村の西を流れる西方川を越える必要がありました。このため船大工に丸太に溝を掘った樋を作らせ、サイフォンを用いて西方川を越えさせ導水し、白岩長池(現菊川市加茂)まで通水しました。

苦心しながらの13年に及ぶ普請の末、文禄3年(1594年)に2,000石の水田を潤す用水がついに完成しました。

加茂用水の現在

現在では、各種の整備が進められ、この施設には当時を偲ばせる構造物はありませんが、用水の取入れ口であった加茂井堰跡には、用水に関する歴史等が刻まれた石碑が建立されています。

加茂井堰は撤去され、農業用水の取水は井堰からポンプ施設に変更されましたが、現在でも農業用水路として利用されています。近年では、この地域に新たに用水路(名称は同名の加茂用水)が整備されたため、補完的な役割を担う施設に変わりました。

【協 力】

菊川市、大井川右岸土地改良区

【参考資料】

『大井川右岸用水史』、
『中部地方の古地理に関する調査報告書
天竜川・菊川 川の流れと歴史のあゆみ』



ふじのくに
美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"

パノラマ遊花の里 — 裾野市 —

平成 27 年度 連合奨励賞 受賞



ココ!

裾野市運動公園付近から国道 469 号線へ向かう道（通称：富士山すそのパノラマロード）沿いには、「裾野市パノラ

マロードを花でいっぱいにする会」が中心となり、市民団体や地元企業との市民協働で大切に育てている花畑が広がっています。

四季折々の花が雄大な富士山を彩る美しい景観は、2012 年の「花咲くしずおか」花・緑・暮らし景観コンクールの景観部門で最優秀賞を受賞し、2015 年には“未来に残したい花風景”として「池坊花逍遥 100 選」に選ばれました。

〈 各花の見頃時期 〉

- 梅：3 月 ● 桜、菜の花：3～4 月
- コスモス、そばの花：9 月



富士山すそのパノラマロード・コスモスまつり



菜の花と桜

本 郷 — 藤枝市瀬戸谷 —

平成 27 年度 連合奨励賞 受賞



ココ!

本郷は山と緑に囲まれたのどかな邑です。この地元の宝である里山を守り、育てていくために「本郷ふるさと普請の

会」は生まれました。

同会は休耕田を利用したそば栽培の試みや、「一社一村しずおか運動」の取組みとして「株式会社 エクノスワタナベ」との協働による小田野沢ビオトープ作りなど、失われつつある自然環境の保全に精力的に取り組んでいます。

ビオトープでは生き物観察などのイベントが定期的で開催され、地域子ども達が里地の生態系を学ぶ場になっています。

〈 邑のイベント 〉

- せとやまるかじり
毎年 11 月中旬頃（今年は 16、17 日）に藤の瀬会館（藤枝市本郷 876）にて開催され、名物の「せとやコロッケ」などの地元グルメや地場産品等が販売されます。



小田野沢ビオトープ



せとやコロッケ

行事予定（11～12月）

開催日	行事予定	開催場所
11月11日（月）	農業農村整備の集い	シェーンバツハ・サポー （東京都）
11月18日（月）	関東ブロック秋季総会 & 要請活動	東京都内
11月28日（木）	農業農村事業に関する意見交換会 （国キャラバン）	レイアップ御幸町ビル （静岡市）
12月05日（木）	令和元年度 第2回 監事会	本会会議室
12月05日（木）	第22回 全国農業担い手サミット in しずおか	静岡県コンベンション アーツセンター 「グランシップ」 （静岡市）



水土里ネット静岡（静岡県土地改良事業団体連合会）

ホームページ <http://www.sizdoren.jp>

本部（事務局、総務企画課、施設管理課、事業課）

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL (054)255-5151 FAX (054)221-3581

E-mail 総務企画課 総務担当 soumu@sizdoren.jp

企画担当 kikaku@sizdoren.jp

施設管理課 水土里担当 kanri-c@sizdoren.jp

事業課 事業担当 jigyo@sizdoren.jp

換地担当 kanchi@sizdoren.jp

東部事業所

〒410-0055 沼津市高島本町1-3

TEL (055)920-2269 FAX (055)920-2192 E-mail toubu@sizdoren.jp

中部事業所

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20

TEL (054)286-9273 FAX (054)286-9274 E-mail shisetsu@sizdoren.jp

西部事業所

〒438-0086 磐田市見付3599-4

TEL (0538)37-2316 FAX (0538)37-2403 E-mail seibu@sizdoren.jp

発行所：〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県土地改良事業団体連合会